

(様式1)

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2021年 6月 30日

①事業者名	ケンブリッジ大学英語検定機構（英語表記：Cambridge Assessment English）					
②測定ツール名	ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools (PB/CB)					
③主な対象者	高校1～2年生。CEFR 基礎レベルのA1-A2からB1に届く3つのレベルを正確に測定					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容 の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	学習者が実生活のさまざまな状況でのコミュニケーションのために英語をどのように使うことができるかを評価する。国際通用性が高く、高等教育機関への扉を開き、就業の機会を高め、勉学や仕事の選択肢を広げていく。A2 Keyの認定証を手にする事で次の「自立した言語使用者」となるB1 Preliminary for Schools、つまり大学共通テストのレベルに進むための自信が育まれます。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	日常的に用いる英語をどれだけ学習したかを測ることが意図された出題である。学習指導要領の「英語コミュニケーションI」および「論理・表現I」の目標に合致した内容となっている。 1年間の試験回数はPB/CB合わせて44回（世界共通）※問題セットはすべて異なる					
⑧実施期間、年間実施回数	年間実施回数 計44回 PB：23回 CB：21回（世界共通の2021年予定） PB：3月[2] 4月[2] 5月[7] 6月[3] 7月[1] 8月[1] 10月[2] 11月[3] 12月[2] CB：1月[2] 2月[2] 3月[2] 4月[2] 5月[3] 6月[4] 7月[2] 9月[1] 10月[1] 11月[1] 12月[1] ※2022年には学校が試験日を設定できる「フレックス試験日」の導入が予定されている。					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBT/CBT ※A2 Key for SchoolsはCBT/PBT両方の実施方式があるが、いずれもスピーキングはペア型面接（受検者2名のやり取り）。					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
				R&W:60分 L:約30分 S:約8-10分 計 約1時間40分		
⑪受検料	公開会場の場合、9,900円（10%税込）／回 ※遠隔地の学校の場合、スピーキング試験官および試験監督の派遣費用が別途掛かることがあります。					
⑫標準返却期間	試験日の7～8週間後に、英国にて発行された「結果ステートメント」と、一定の基準に達した方には「認定証」を郵送でお送りします。 ※オンラインサービスにて試験日の6週間後に確認できます。					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.cambridgeenglish.org/jp/exams-and-tests/key/					